

令和6年度 工 事 仕 様 書

工 事 名 特殊電源装置蓄電池改築工事

工事箇所 東中継ポンプ場(久喜市久喜東地内)ほか

工事大要

工事期間 : 契約日から令和7年3月14日

工事内容 : 東中継ポンプ場及び鷺宮中継ポンプ場に設置されている
直流電源装置(鉛蓄電池)の更新及び試運転調整等作業
一式

- 対象機器 :
- 1 東中継ポンプ場制御用直流電源装置
制御弁式据置鉛蓄電池 1組(54セル/9個)長寿命形
形式:MSJ-50-12
容量:50Ah/10HR 108V
 - 2 鷺宮中継ポンプ場自家発始動用直流電源装置
制御弁式据置鉛蓄電池 1組(12セル/12個)長寿命形
形式:SNSX-300
容量:300Ah/10HR 24V

機 器 費 明 細 書

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
東中継ポンプ場鉛蓄電池(標準形) MSE-50-12(54セル/9個)温度警報電極付	組	1			
鷺宮中継ポンプ場鉛蓄電池(標準形) MSE-300.(12セル/12個)温度警報電極付	組	1			
計					

間接工事費

A-2 代価表

種 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費	式	1			B-4
現場管理費	式	1			
据付間接費	式	1			
計					

労務費

B-1 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般労務費	式	1			C-1
技術労務費	式	1			C-2
計					

直接経費

B-2 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接経費	式	1			
計					

仮設費

B-3 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設費	式	1			
計					

共通仮設費

B-4 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
準備費	式	1			C-3
安全費	式	1			
技術管理費	式	1			
計					

一般労務費

C-1 代価表

種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要	単 位
電工					人

計

技術労務費

C-2 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術者	人				
		計			

準備費

C-3 代価表

種 別	数量	単 価	金 額	摘 要
東中継ポンプ場鉛蓄電池 (広域認定制度)収集・運搬・処分費	1			
鷺宮中継ポンプ場鉛蓄電池 (広域認定制度)収集・運搬・処分費	1			
計				

特記仕様書

特殊電源装置蓄電池改築工事

令和6年度

公益財団法人埼玉県下水道公社

目 次

第1章 共通

第2章 対象機器

第3章 工事内容

別表1 交換機器（蓄電池）一覧表

図面

第1章 共通

1 適用範囲

この特記仕様書は、本工事に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社建設工事標準仕様書を補足する必要な事項を定めるものとする。

2 概要

本工事は、東中継ポンプ場（制御用直流電源装置）・鷲宮中継ポンプ場（自家発電用直流電源装置）に設置されている制御弁式据置鉛蓄電池の更新及び試験調整を行い、設備の機能回復を図るため実施する。

3 適用規格

次の諸規定を遵守すること。

なお、規定は本工事契約時における最新版を使用する。

- ・ J I S
- ・ J E C、J E M
- ・ 電気設備技術基準
- ・ 機械設備工事一般仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事一般仕様書・同標準図（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備標準仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（国交省大臣官房長官宮繕部監修）
- ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（国交省大臣官房長官宮繕部監修）
- ・ 埼玉県機械設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県電気設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県建築工事実務要覧
- ・ 埼玉県土木工事共通仕様書
- ・ 日本蓄電池工業会規格（SBA）

4 対象機器

対象機器は、第2章のとおりとする。

5 工事内容

本工事内容は、第3章のとおりとする。

6 注意事項及び条件

注意事項及び条件は、次の事項のとおりとする。

- 据付作業は正確に行い、長期の使用に十分耐えられるものとする。
- 施工に電動工具を使用する場合は、保護装置を介して施設の運転に影響を及ぼさないようにすること。
- 設備停止及び部分停電を必要とする場合は、予め監督員と打合せを行い、停止時間及び停電時間の短縮に努めること。
- 施工前または施工後に行うC/C盤等の電源遮断や電源投入は監督員、現場代理人等の立会いの下で行い、施工中であることを表示すること。
- 受注者が電源を用意して使用する場合は、電気主任技術者の承諾を受けること。移動型自家用発電機(10kW以上)を使用する場合は、経済産業省に届け出ること。
- 万が一事故が発生した場合に備え、緊急連絡体制を整えておくこと。
- 危険な作業範囲内には、立ち入らぬよう標識・バリケード等を設置し、吊り荷重の確認を行い、作業に見合った適切なクレーン車等を用いて実施すること。
- 施工にあたり発生する現場発生品は、受注者が適正に処分すること。
- 鉛蓄電池の処分については、「広域認定制度（廃棄物処理法第十五条の4の3産業廃棄物の広域的処理に係る特例）に基づき適正に行うこと。
- 工事に伴う設備影響の調査、設備の養生については受注者の負担で行うこと。
- 施工場所の近接に施工日時等を事前周知すること。

7 負担区分

施工にあたり、次に掲げるもの以外の消耗品等は受注者の負担とする。ただし、使用については取扱いに十分注意し、監督員の指示に従うものとする。

- 用水
- 試験用電源（AC100V-15A以下に限る）
ただし、停電時、停電作業時等で発注者が電力を供給できない場合は、受注者が発電機等を用意して実施すること。
- 既設照明設備
- その他、監督員が認めたもの

8 建設副産物の処分等に関する入力等について

受注者は、建設副産物の処分等に関し、国土交通省リサイクルホームページ内の建設リサイクル報告様式（エクセル版）によりデータを作成し、電子ファイル及び紙帳票を監督員に提出すること。

9 下水道施設台帳システム（AMDB）登録情報の整備

本工事で設置、更新、仕様変更した機器等の情報について、公社が指定する様式に機器仕様などの情報を整理し、電子データ（Excel形式）を提出すること。

10 環境配慮への取組

環境負荷の低減や汚染・事故防止、環境管理体制の確立を図るとともに、地域・住民への信頼性の向上を図ることを目的とし、公益財団法人埼玉県下水道公社が行う環境に配慮した活動に積極的に参加すること。

11 その他

本工事に関連する作業について、発注者が調整し、受注者はこの関連作業について円滑施工に協力すること。

第2章 対象機器

1 東中継ポンプ場

既設 制御用直流電源装置蓄電池

型式： 制御弁式据置鉛蓄電池 (MSJ-50-12)長寿命形
直流盤組込形、温度警報電極付

数量： 54 セル/9個 1 組

容量： 50 Ah/10HR 108 V

製造者： 新神戸電機(株)

2 鷺宮中継ポンプ場

既設 自家発始動用直流電源装置蓄電池

型式： 制御弁式据置鉛蓄電池 (SNSX-300)長寿命形
直流盤組込形、温度警報電極付

数量： 12 セル/12個 1 組

容量： 300 Ah/10HR 24 V

製造者： (株)GSユアサパワーサプライ

※ 上記の蓄電池は、既設長寿命形鉛蓄電池の仕様である。

※ 詳細については、添付図面参照

第3章 工事内容

- 1 第2章、別表1に示す機器、（既設長寿命形鉛蓄電池から標準形鉛蓄電池）への更新作業一式
- 2 機器（鉛蓄電池）の現地据付・撤去、単体試験及び直流盤総合試運転等作業一式
※ 鉛蓄電池の温度警報試験などは、現場直流盤から古利根川水循環センター中央監視室内のLCD画面標示までを確認すること。
- 3 機器（鉛蓄電池）更新に伴う盤内ケーブル・電線類の敷設・結線及び絶縁測定等一式
- 4 機器（鉛蓄電池）搬入・搬出に伴う仮設養生及び安全対策等一式
※ 必要に応じて表示札を貼付け、パイロン等で区画整理を行うこと。
- 5 既設（鉛蓄電池）処分については、「広域認定制度（廃棄物処理法第十五条の4の3 産業廃棄物の広域的処理に係る特例）に基づき適正に行うこと。

別表 1 交換機器等一覧表

1 東中継ポンプ場

制御用直流電源装置蓄電池

型式:	制御弁式据置鉛蓄電池	(MSE-50-12)標準形
	直流盤組込形、温度警報電極付	
数量:	54 セル/9個	1 組
容量:	50 Ah/10HR	108 V

2 鷺宮中継ポンプ場

自家発始動用直流電源装置蓄電池

型式:	制御弁式据置鉛蓄電池	(MSE-300)標準形
	直流盤組込形、温度警報電極付	
数量:	12 セル/12個	1 組
容量:	300 Ah/10HR	24 V

※ 上記の蓄電池は、既設長寿命形鉛蓄電池を標準形鉛蓄電池に更新するものである。

※ // 、特定のメーカーを定めるものではない。直流盤との整合性を取り
選定すること。また、日本蓄電池工業会規格（SBA）を満足すること。

※ 詳細については、添付図面参照

特殊電源装置蓄電池改築工事 図面目次

図番	図 面 名
1	東中継ポンプ場 平面図
2	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 仕様図
3	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 外形図
4	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 単線結線図
5	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 主回路図
6	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 蓄電池外形図
7	東中継ポンプ場(制御用直流電源装置) 蓄電池仕様図
8	鷺宮中継ポンプ場 平面図
9	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 仕様図1
10	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 仕様図2
11	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 外形図
12	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 蓄電池結線図
13	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 整流器主回路図
14	鷺宮中継ポンプ場(自家発始動用直流電源装置) 蓄電池仕様外形図

東中継ポンプ場 平面図

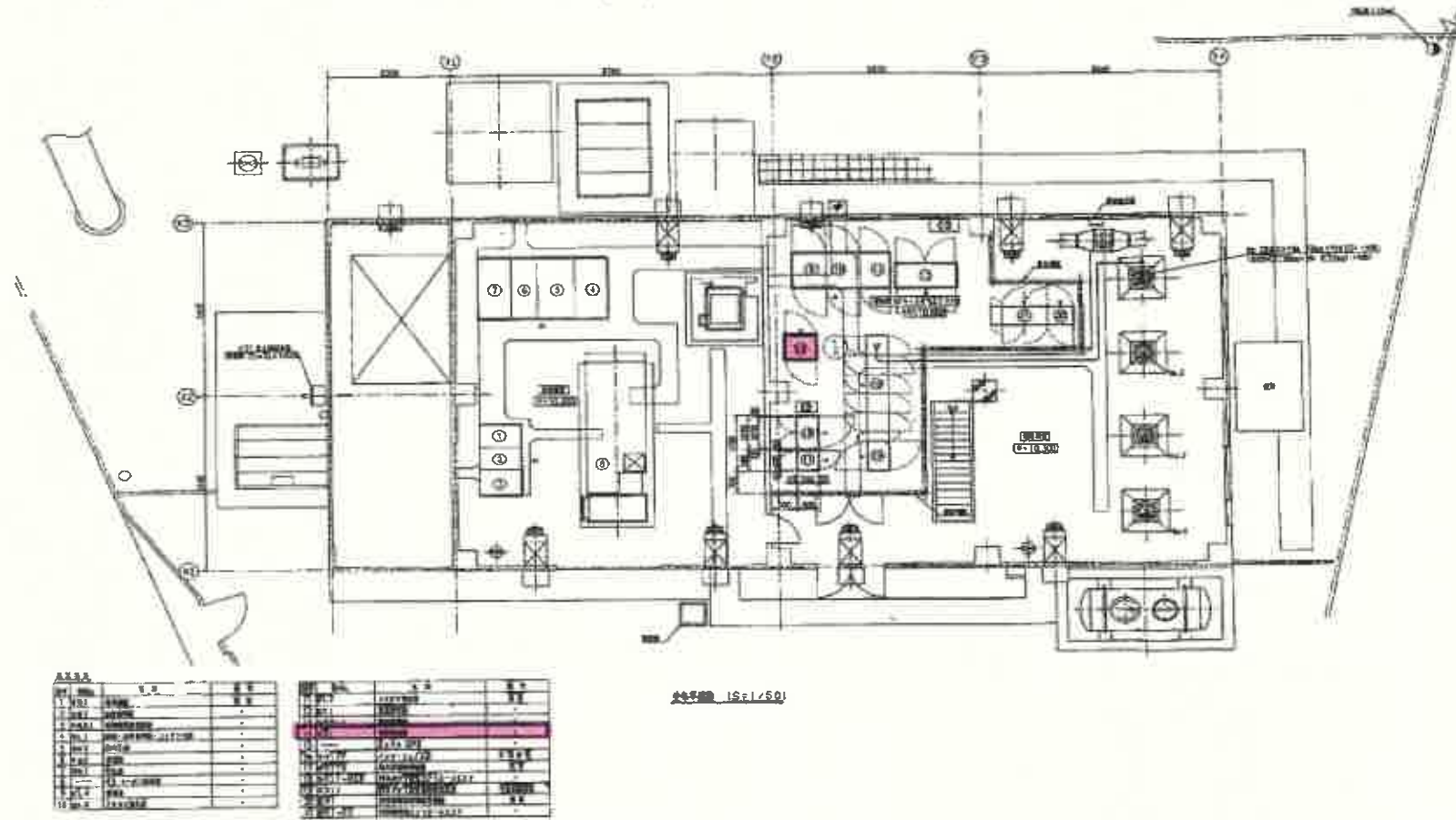


表 1

記号	名称	単位	数量
1	ポンプ	台	1
2	弁	個	1
3	配管	m	10
4	電気配線	m	10
5	照明器具	個	1
6	換気扇	台	1
7	階段	箇所	1
8	エレベーター	台	1
9	エレベーター	台	1
10	エレベーター	台	1

表 2

記号	名称	単位	数量
11	ポンプ	台	1
12	弁	個	1
13	配管	m	10
14	電気配線	m	10
15	照明器具	個	1
16	換気扇	台	1
17	階段	箇所	1
18	エレベーター	台	1
19	エレベーター	台	1
20	エレベーター	台	1

図面番号 IS-1/50

■ 工事対象箇所

図番-1
東中継ポンプ場 平面図

1. 適用

本装置は直流操作電源および制御用直流電源に適用します。
 本装置は制御弁式蓄電池MSJ-50-12×9個(54セル)セルと組合わせて構成します。
 尚、蓄電池については、別途蓄電池仕様書を参照してください。

2. 概 要

定電圧、定電流制御機能

- (1) 交流入力電圧、周波数および負荷の変動に対し、出力電圧を一定に保ち、蓄電池を常に適正な浮動充電状態に維持し、負荷に電力を供給します。
- (2) 放電により蓄電池電圧が低下した場合、入力電源復電後の充電電流は定格値の105%以下で定電流となるよう出力電圧を低下させ、出力電流を抑制します。

自動充電制御機能

- (1) 蓄電池の温度が上昇しますと自動的に減電圧充電を行い、蓄電池を保護します。
 温度が低下しますと自動的に浮動充電に戻ります。
- (2) 整流ユニットの出力電圧が何らかの原因で過電圧となった場合、整流ユニットの入力ブレーカをトリップして、当該整流ユニットの運転を停止し、負荷、蓄電池の損傷を防ぎます。

3. 適用規格

この仕様書に記載のない事項は下記の規格、法規に準拠します。
 日本工業規格(JIS)
 電気規格調査会標準規格(JEC)
 日本電機工業会標準規格(JEM)
 電池工業会規格(SBA)
 公共建築工事仕様書(電気設備工事編)平成16年版
 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

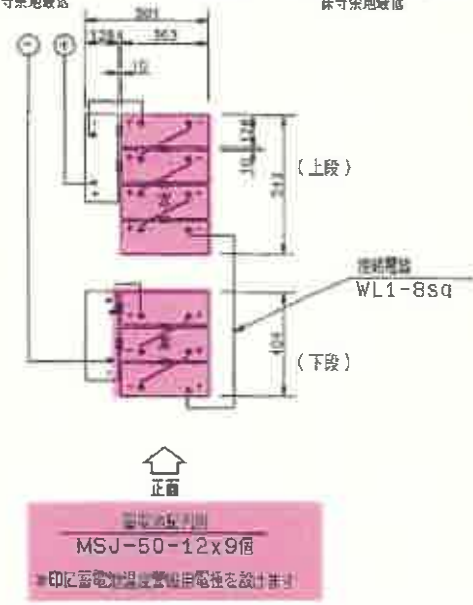
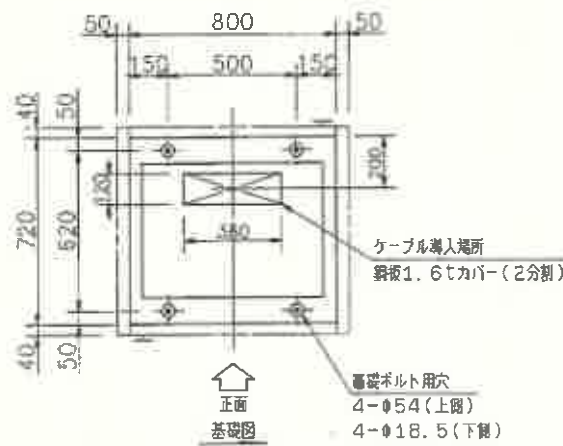
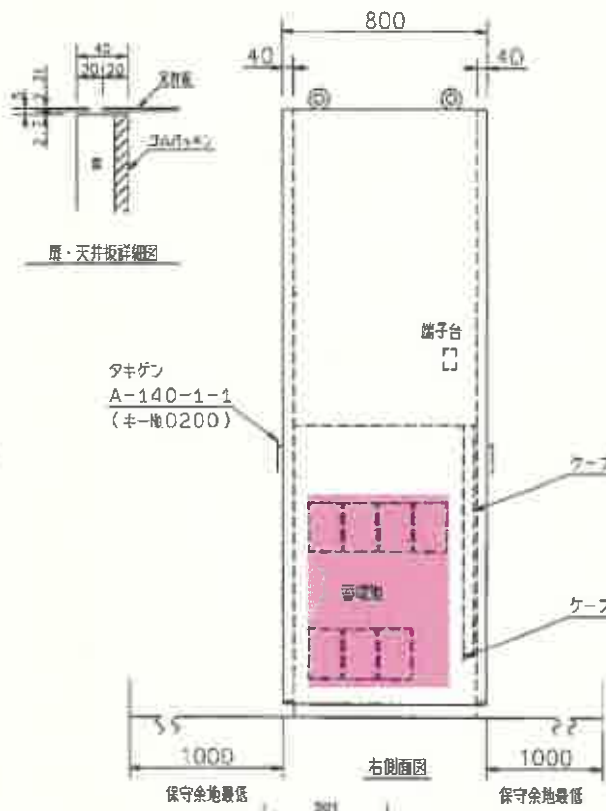
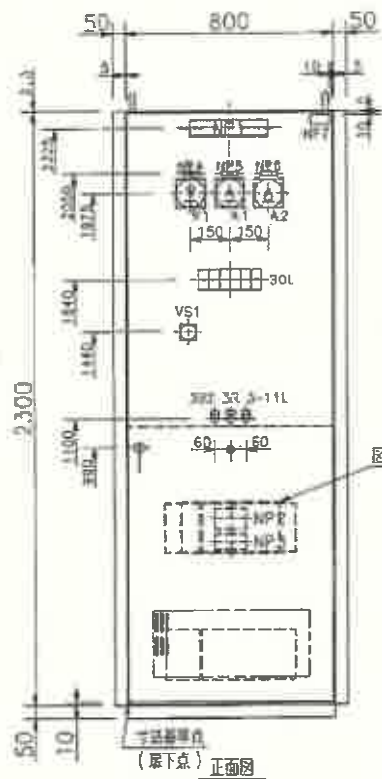
4. 使用環境

- 本装置は下記の環境で使用されるものとします。(JIS C. 4402-2004)
- (1) 周囲温度 -5~+40℃
 - (2) 相対湿度 45~85%
 - (3) 高 度 標高1000m以下
 - (4) 設置場所 有害ガス、塩分、ほこりの少ない室内

5. 電気的性能

方式	電 圧	電 流	定格出力(概算)	備 考		
交流入力	電 圧	電 流	3相3線	標準PWM制御(正転入力)		
	電 圧	電 流	単相3線			
	電 圧	電 流	100%電圧			
	電 圧	電 流	2相3線			
	電 圧	電 流	V		420	
	電 圧	電 流	±%		10	
	電 圧	電 流	Hz		50	
	電 圧	電 流	±%		5	
	電 圧	電 流	Hz		95	比力最大電流範囲、標準による
	電 圧	電 流	VArH		2.4	出力電流
直流出力	電 圧	電 流	定 値	電圧変動許容値は交流電圧および周波数、出力電流の範囲内で満足する(換出点にて)		
	電 圧	電 流	V		120	
	電 圧	電 流	V		116~124	
	電 圧	電 流	±%		±1	
	電 圧	電 流	A		15	
	電 圧	電 流	A		0~15	
	電 圧	電 流	120V 15A 1h			
	電 圧	電 流	2相電流の105%以内		定格電圧に達した後は	
	電 圧	電 流	10(r.m.s)		過電圧は短時間許容した	
	電 圧	電 流	90		入力電圧	
負 荷 電 圧	電 圧	電 流	シリコン整流			
	電 圧	電 流	V	DC120V(max.)		
	電 圧	電 流	V	DC 90~110V		
電 圧 上 昇	電 圧	電 流	A	DC1~10A		
	電 圧	電 流	V以下	50(2相電流)以内		
	電 圧	電 流	V以下	110(1相電流)		
絶 縁	電 圧	電 流	V以下	15		
	電 圧	電 流	MOUL	5		
	電 圧	電 流	AC2000V	1.5		
絶 縁 耐 圧	電 圧	電 流	AC2000V	1.5		
	電 圧	電 流	AC2000V	1.5		
	電 圧	電 流	AC2000V	1.5		

図番-2
 東中継ポンプ場
 (制御用直流電源装置)仕様図



銘板記入文字

記号	記入文字	材質	備考
NP1	直流電源盤	アクリル	両面印刷 フッ素処理
NP2	(定格銘板)	(金属)	
NP3	(蓄電池銘板)	(金属)	
NP4	直流出力電圧	アクリル	フッ素処理
NP5	直流出力電流	アクリル	フッ素処理
NP6	蓄電池電流	アクリル	フッ素処理
NP7	(控NO.「 B1 」)	ポリエステルフィルム	両面印刷
VS1	直流電圧計 切-充電器-蓄電池-負荷-切	ステンレス	
3BZ	警報停止	ステンレス	
3R	表示復帰	ステンレス	
3-11L	ランプテスト	ステンレス	

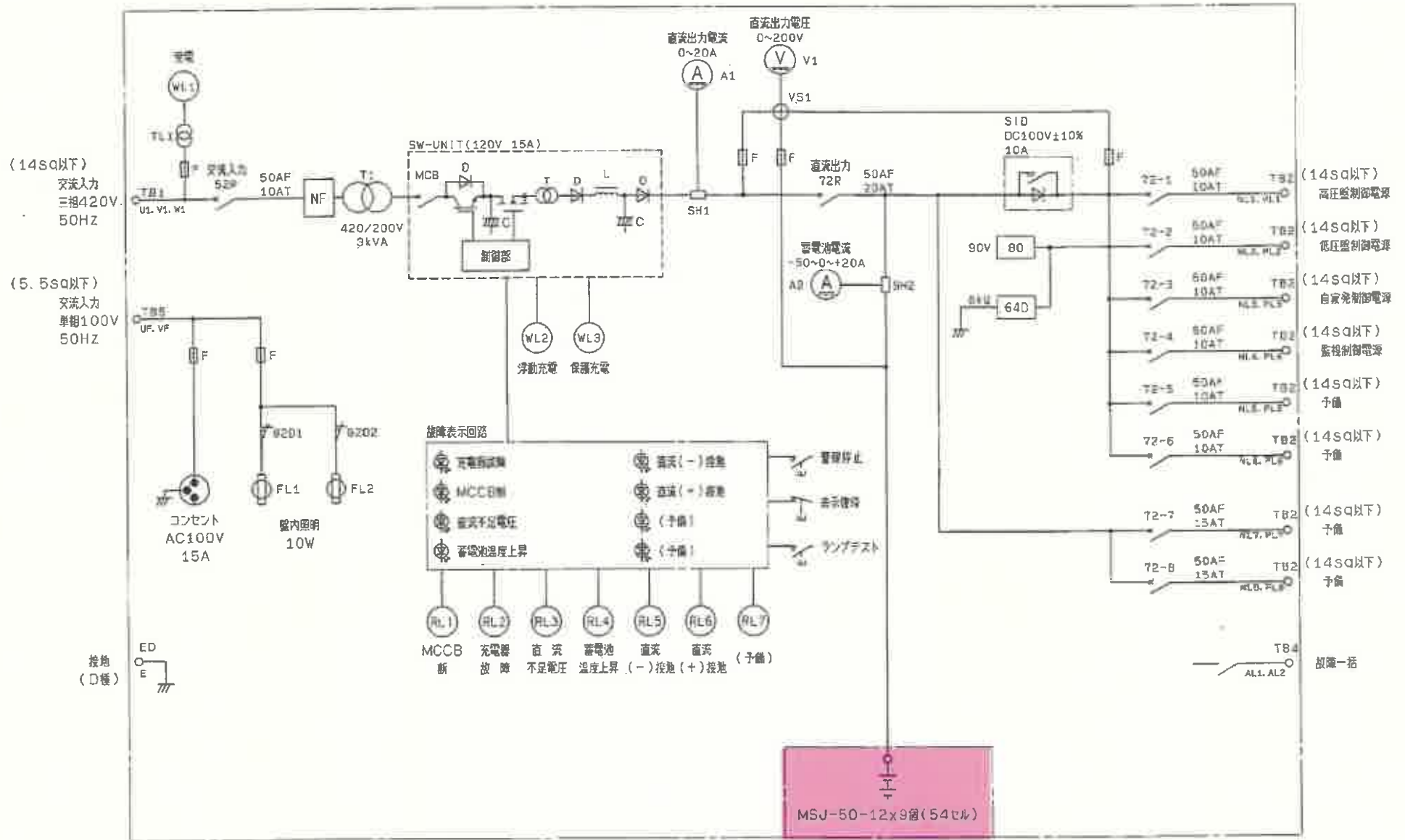
30L記入文字 (HF)

受電		赤	
受電	浮動充電	保護充電	MCCB断
(0V, 11)	(0V, 2)	(0V, 3)	(0V, 1)
直流 不足電圧	蓄電池 温度上昇	直流 (-)接地	直流 (+)接地
(0V, 4)	(0V, 5)	(0V, 6)	(0V, 7)
赤			

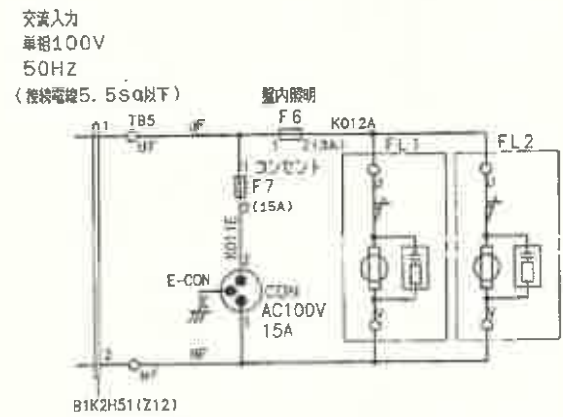
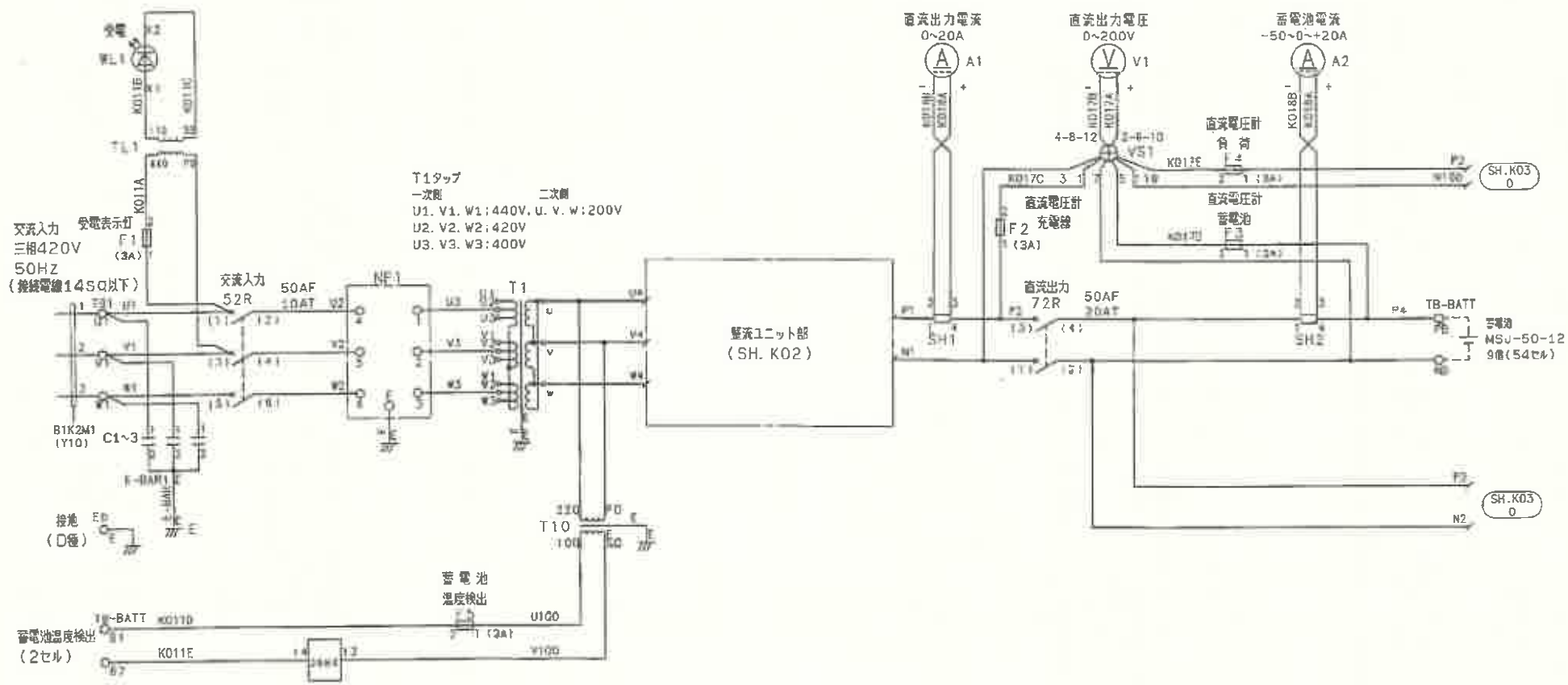
- 質量 約750kg (蓄電池含む)
- 底板付とします。
- 換気口は正面及び裏面に設けます。
- 扉はドアストッパー付とします。
- 換気口にはエアフィルターを取付ます。
- 扉枠にゴムのパッキンを取付ます。
- 蓄電池の角部及び扉には緩衝用ゴムを取り付けます。
- 扉ハンドルはY7/1アクリル樹脂成形塗装処理品とします。

更新蓄電池

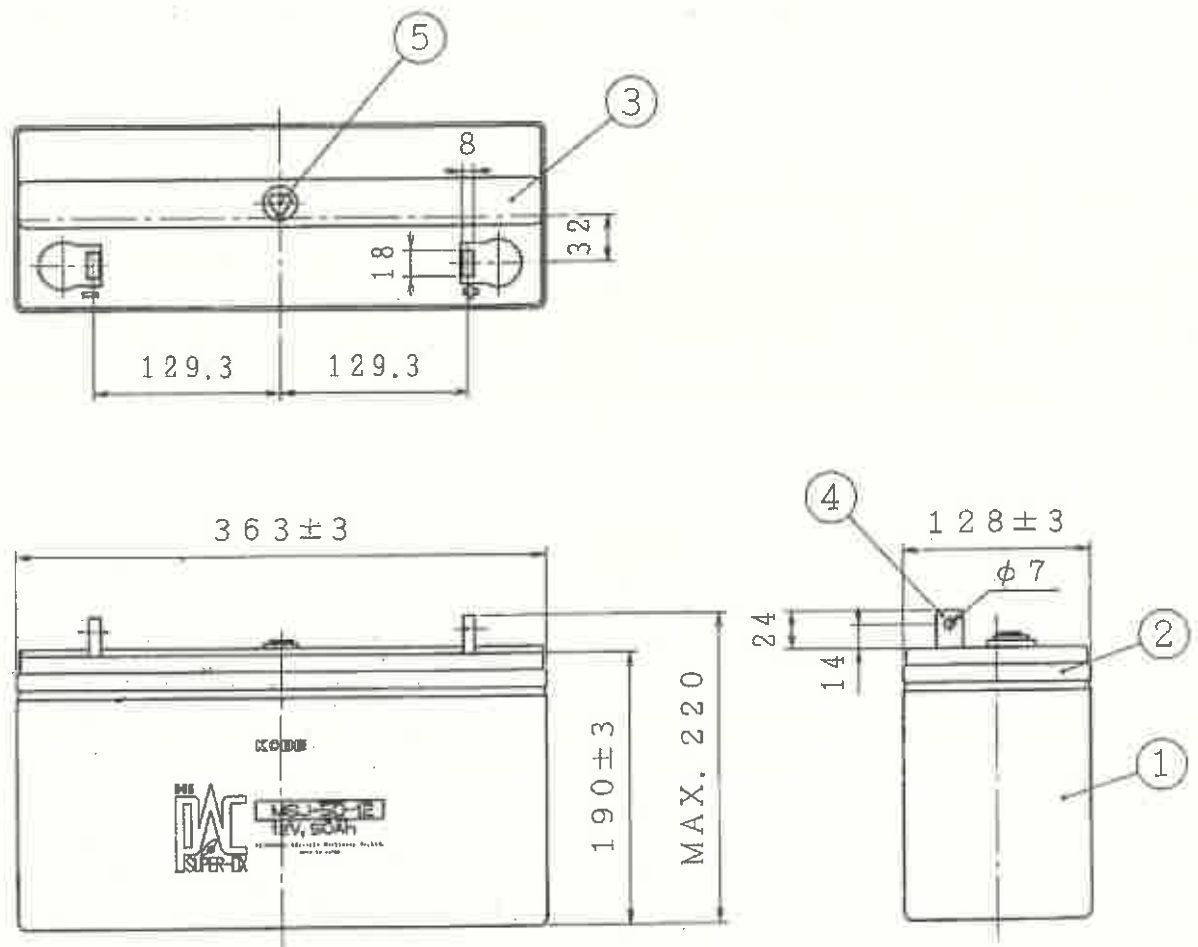
図番-3
東中継ポンプ場
(制御用直流電源装置) 外形図



図番-4
 東中継ポンプ場
 (制御用直流電源装置) 単線結線図



図番-5
東中継ポンプ場
(制御用直流電源装置) 主回路図



5	安全弁付防爆栓	合成樹脂他	1	
4	端子	鉛合金	2	
3	上フタ	合成樹脂	1	
2	フタ	合成樹脂	1	
1	電槽	合成樹脂	1	
番号	品名	材質	数量	記事

図番-6
 東中継ポンプ場
 (制御用直流電源装置) 蓄電池外形図

制御弁式据置鉛蓄電池仕様書 (陰極吸収式シール形)

1. 適用

この仕様書は、UPS用、発、変電所の制御用・操作用、通信用、その他直流電源として使用される、制御弁式据置鉛蓄電池（陰極吸収式シール形）に適用します。

2. 仕様

品名	制御弁式据置鉛蓄電池（陰極吸収式シール形）
形式	M S J - 5 0 - 1 2 形 消防用蓄電池設備型式認定番号 04C 248
個数	9個
定格容量	50Ah（10時間率） 33Ah（1時間率）
公称電圧	108V/組
電池質量	約 22kg/個

3. 適用規格

本蓄電池は J I S C 8 7 0 4 - 2 「据置鉛蓄電池 第2部：制御弁式（種類Ⅱ）」の規格を準拠します。

4. 構成

この仕様書に規定する蓄電池1組の構成品目は、表1のとおりとします。

品名	摘要	数量
蓄電池	M S J - 5 0 - 1 2 形	9個
接続部品	接続板 接続用ボルト・ナット・座金、他	1式
警報電極 (オプション品)	温度警報電極	2個
銘板・番号札・極性札		1式
取扱説明書		1部

5. 浮動充電電圧

浮動充電電圧は、120V（2.23V/セル×54セル）とします。

6. 容量試験

容量試験は、J I S C 8 7 0 4 - 2（種類Ⅱ）に準じて行い、試験回数5回以内に2項記載の10時間率容量または1時間率容量の95%以上を有するものとします。

7. 構造

7.1 単電池構造

単電池は、正極板群、負極板群、極柱（端子）、電槽、ふた、隔離板、防爆装置などからなり、電槽とふたの間は封口剤にて封口したものとします。
本蓄電池は、正極板から発生する酸素ガスを、負極板表面で吸収することにより、補水を必要としない機能を有するものとします。

7.2 極板群

(1) 極板

正極板、負極板はペースト式極板とします。

(2) 極柱（端子）

極柱（端子）は、鉛合金製とし、ボルトとナットで接続できる構造とします。

7.3 電槽 および ふた

電槽は、S B A S 0 4 0 3（鉛蓄電池用電槽）に規定された第2類の難燃合成樹脂電槽で、側面には弊社略号を表示します。
ふたは、難燃合成樹脂製を用い、防爆装置を装備します。

7.4 隔離板

隔離板は、蓄電池の性能に有害な物質を溶出ししないものを使用します。

7.5 防爆装置

防爆装置は、通常の使用状態において蓄電池外部に火点があっても蓄電池内部に引火誘爆することがなく、かつ発生酸霧がほとんど脱出ししない構造とします。

7.6 電解液

電解液は、J I S K 1 3 2 1（硫酸）に規定された精製希硫酸、またはこれと同等以上とします。

7.7 接続

接続板は銅製で、長期の使用に対してほとんど腐食のないものとします。各単電池間の接続は、ボルト・ナット締付式とします。

7.8 極性記号

極性記号「+」「-」は、蓄電池の見易い位置に表示します。

7.9 表示

蓄電池1組には、つぎの事項を表示した銘板1枚を添付します。
形式・容量（時間率）・1組の個数・公称電圧・製造社名・製造年月。

8. 納入

本蓄電池は、液入り初充電済状態で納入し、補充充電後直ちに使用できるものとします。

9. 保証

蓄電池納入後、2年以内に明らかに設計、製作上の誤りと認められる故障が発生した場合、無償にて修理または取り替えをします。

10. 保守用具

蓄電池1組につき、表2に示す保守用具を添付します。

表2 保守用具表

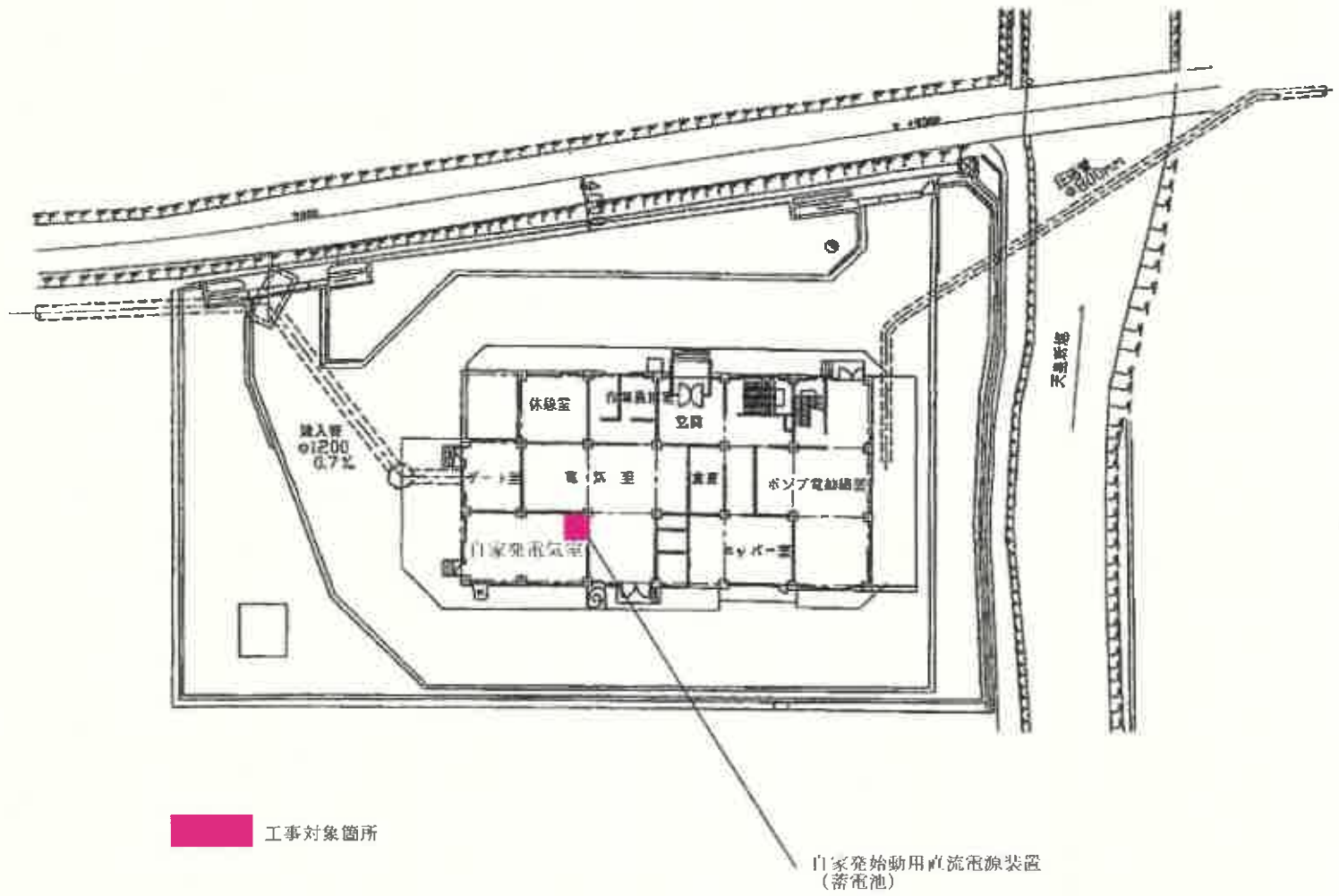
品名	摘要	数量
電圧計	デジタル	1個
締付工具	端子締付用スパナ	1組
保守用具収納箱	合成樹脂製	1個

図番 7

東中継ポンプ場

(制御用直流電源装置) 蓄電池仕様図

鷺宮中継ポンプ場 平面図



図番-8
鷺宮中継ポンプ場 平面図

電源装置一般仕様

装置形式	TR-SNMB02030-A		
装置形式			
蓄電池形式	SNSX-300	セル数	12
	(SNS-300)		

1 適用規格

この仕様に記載のない事項は下記の規格などに準拠するものとします。

- 日本工業規格 (JIS)
- 電気規格調査会標準規格 (JEC)
- 日本電機工業会規格 (JEM)
- 電池工業会規格 (SBA)
- 日本下水道事業団電気設備標準図 (平成18年度)

消防法適合品

図面一覧表

SH. No.	図面名称	SH. No.	図面名称		
A11	一般仕様	D11	整流器主回路図	回 路 図	
A21	性能仕様	D21	直流負荷回路図		
A31	配線仕様	D41	操作・警報表示回路図		
A41	外観構造仕様(1)	F11	館内照明回路図		
A42	外観構造仕様(2)				
A43	塗装仕様				
A44	組製作仕様				
A51	警報回路仕様				
B11	単線接続図			部 品 表	
C11	外形図(1)	G11	予備品・付属品表		
C12	外形図(2)				
C21	端子配列一覧表				
C31	端子配列図				
C51	電池接続図				
				制御回路・ユニット回路図	
				図面番号	図面名称

2 使用環境 設置は下記的环境で使用されるものとします。

周囲温度	-10~40℃
相対湿度	25~85% (但し結露しない事)
高 度	標高1000m以下
設置場所	有害ガス・塵分・ほこりの少ない室内
耐 震	設計震度 水平:1.0, 鉛直:0.5

3 温度上昇 (電圧降下法、周囲温度40℃を基準とします。)

主変圧器 リアクトル } コイル部	耐熱クラスB	70K以下
	耐熱クラスF	90K以下
	耐熱クラスH	115K以下
サイリスタ		65K以下
シリコン整流素子		90K以下
シリコントロッパ		110K以下
パワートランジスタ		90K以下

4 絶 縁

絶 縁 耐 力	交流回路-7-ス開	50/60Hz	AC2000V 1分間
	直流回路-7-ス開	50/60Hz	AO2000V 1分間
	交流回路-直流回路間	50/60Hz	AO2000V 1分間
絶 縁 抵 抗	5MΩ以上 (DC500Vメータによる)		

注1. 電子回路 (半導体プリント回路) は除きます。

5 予 備 品

ヒューズ	現用×100%
LED球	各種1個
防じんフィルタ	現用×100%
グローブ	現用×10%

6 付 属 品

基礎ボルト	M16金属嵌込アンカー
補修塗料	1/12リットル
吊金具	1式

図番-9

鷺宮中継ポンプ場

(自家発始動用直流電源装置) 仕様図1

性能仕様

電気的性能

機器の電気的性能は下記の通りとします。

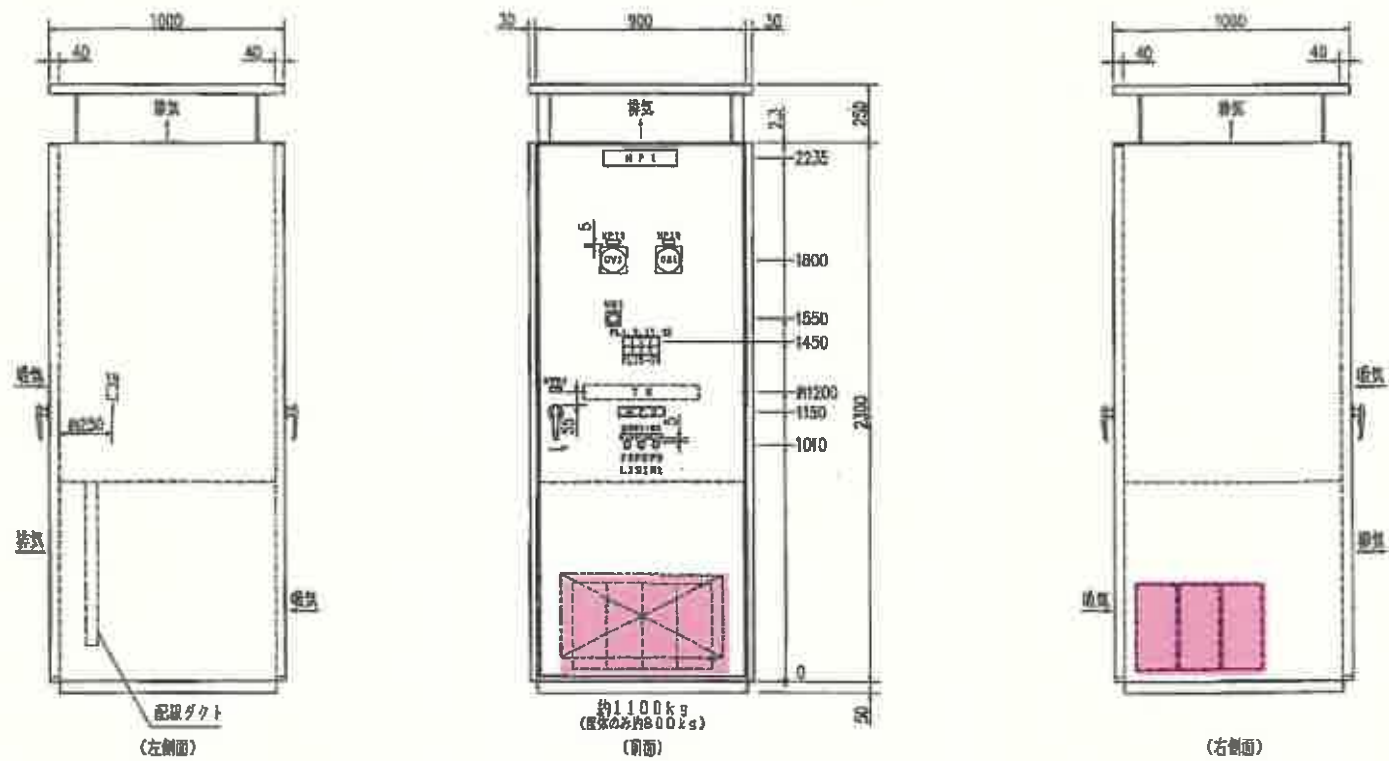
1 交流電源

	項目	仕様	備考
交流入力	相数	3Ph 3W	
	電圧	420V±10%	
	周波数	50Hz±5%	
	定格入力容量	2.1kVA	
	最大入力容量	2.5kVA	

2 整流器

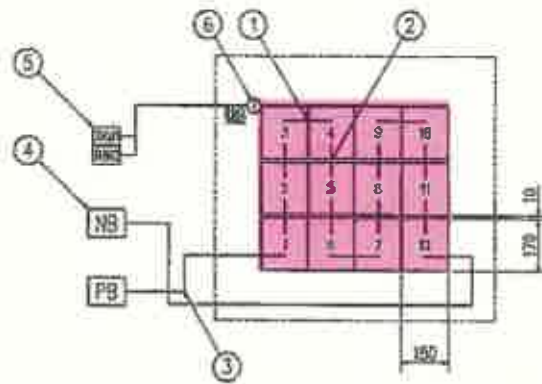
	項目	仕様	備考	
定格	冷却方式	自冷		
	定格	100%連続		
	整流方式	三相全波整流		
	制御方式	サイリスタ自動定電圧制御		
直流出力	浮動充電電圧	26.8V (定格電圧)	出力電圧調整範囲 ±3%以上 (入力電圧定格、出力無負荷時)	
	出力電圧精度 (注)	浮動	±1.5%以内	入力電圧定格±10% 出力電流 0-100%
		(注) 無負荷状態で入力電圧を定格値±10%変動させた時出力電圧±1.0%以内とする。		
	定格電流	30A		
	最大垂下電流	定格電流の120%以下		
	脈動電圧	22%以下 (RMS)	定格入出力時 蓄電池接続 無	
	効率	60%以上	定格入出力時	
	騒音	75dB以下 (A特性)	機器から1m離れた高さ1mの点にて	

図番-10
 鷺宮中継ポンプ場
 (自家発始動用直流電源装置) 仕様図2



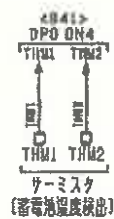
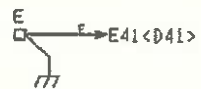
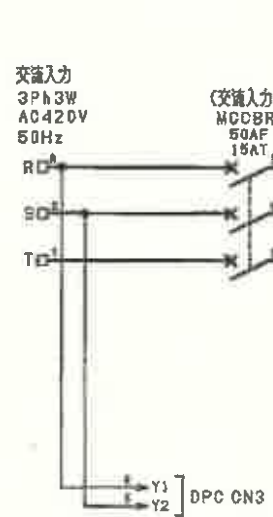
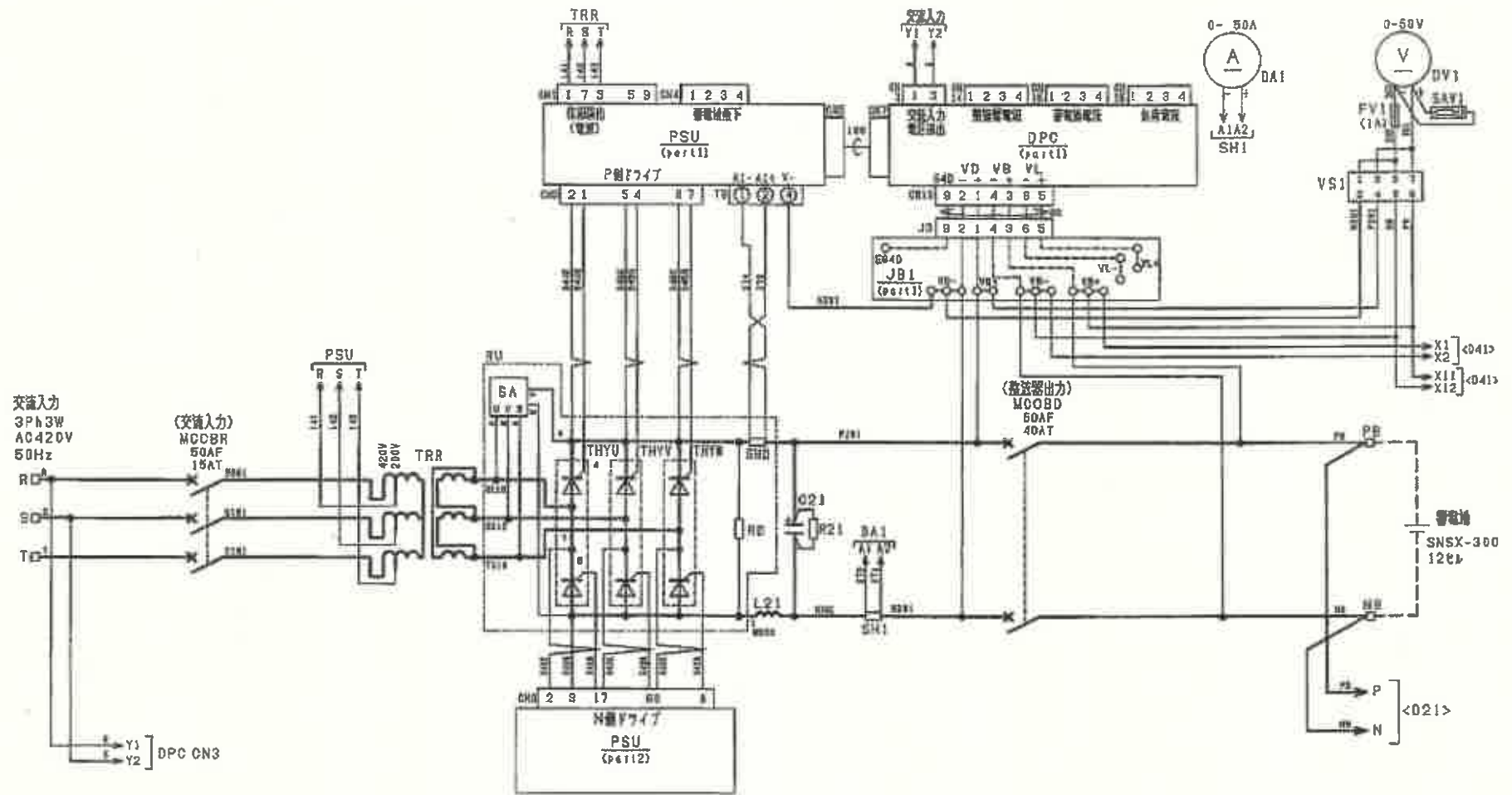
更新蓄電池

図番-11
 鷺宮中継ポンプ場
 (自家発始動用直流電源装置) 外形図



更新蓄電池

図番-12
 鷺宮中継ポンプ場
 (自家発始動用直流電源装置) 蓄電池結線図



図番-13
 鷗宮中継ポンプ場
 (自家発始動用直流電源装置) 整流器主回路図

据置鉛蓄電池仕様（制御弁式）

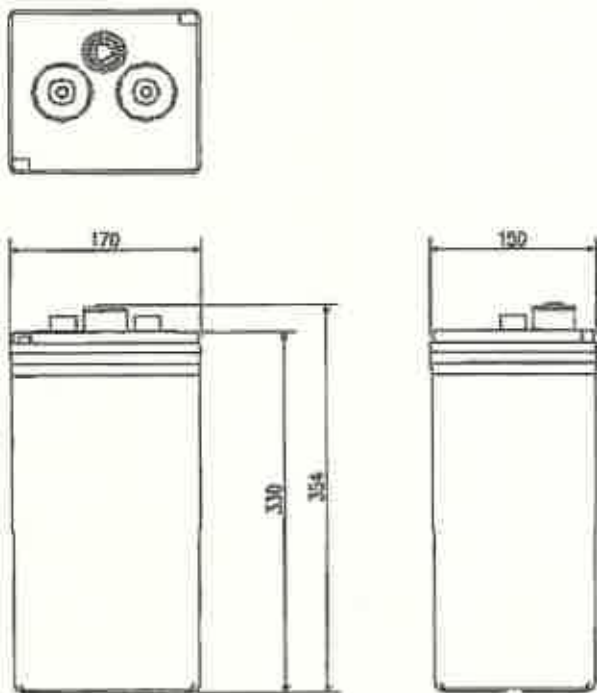
1. 要項
形名:

SNSX-300-12

種別	据置鉛蓄電池（制御弁式）（JIS C8704-2適合）（長寿命形）		
容量	300Ah（10時間率）		
適用蓄電池数量	形名：SNSX-300	300Ah、2V電池	12個組
公称電圧	24V		

注 1組に含まれる温度検出装置付単電池数量：1セル

2. 単電池外形図および質量



質量：約21.5kg

図番-14
鷺宮中継ポンプ場
（自家発始動用直流電源装置）蓄電池仕様外形図

3. 構造

蓄電池は、正極板、負極板、隔離板、電槽、ふた、電解液等から構成され、
-15～+45℃において異常なく使用できるものとします。
（ただし、好ましい使用温度範囲は+5～+30℃とします。）
また、正極端子と負極端子を備えたものとし、密閉構造は、正極板から発生する酸素ガスを負極表面で吸収することにより、補水を必要としない機能を有するものとします。
蓄電池は、通常の使用状態において蓄電池外部に火点があっても、蓄電池内部に引火誘発することなく、しかも発生酸霧が脱出しにくい構造としたもので、
主要構成部品は下表によるものとします。

項目	内容
極板	鉛・カルシウム合金を主体とした格子に、発泡質を充填したものとします。
隔離板	ガラス繊維製隔離板は、正極板と負極板を隔離し、保液性が良好で、かつ有害な物質が滲出しにくいものとします。
電槽	電槽は、電池工業会規格 JIS S 50403（鉛蓄電池用電槽）に規定された第2類の合成樹脂電槽とします。
端子	鉛合金および黄銅製端子はボルトで接続できるものとし、使用するボルトは JIS B0205（メートル並目ねじ）によるものとします。
電解液	電解液は、JIS K1321（硫酸）に規定された精製希硫酸とします。

4. 容量試験

蓄電池の容量は、次の条件のもとに一定電流で放電終止電圧になるまで連続放電して、これを求め、試験回数5回以内に要項に示す10時間率容量の95%以上有するものとします。但し、容量試験は契約時に指定された場合のみ行うものとします。

（放電）：
 (1) 放電開始時期 充電終了約1～24時間静置した後
 (2) 放電電流 容量を10で割った一定電流
 (3) 放電終止電圧 単電池当たり平均1.8V
 (4) 放電開始時蓄電池温度 25±5℃

5. 表示

蓄電池1組には、銘板等により次の事項を表示するものとします。
 (1) 形式、(2) 容量、(3) 1組の個数（セル数）、(4) 製造社名または略号、
 (5) 製造年月、また、各蓄電池には番号札を、ふた上に極性を表示するものとします。

6. 出荷時における蓄電池の状態

この蓄電池は初充電済で出荷するものとします。

7. 添付品

品名	数量	品名	数量
定格銘板（貼付式）	1	番号札（貼付式）	1
注意ラベル（貼付式）	1	取扱説明書	1

8. 保守用品

品名	適用	数量	品名	適用	数量
防錆剤	ワセリン200g	1	片口スパナ	蓄電池適合品	1
保守用品収納箱		1			
デジタル電圧計	加計A製CDM-12D	1			